

◎ 寺子屋サロン(浄土真宗基礎講座)：13時半～15時

原則毎月28日(28日が土・日に当たる場合は直前の金曜日)に、毎回「テーマ」を設けて、皆で座談する形式で開催しています。

6月28日(金) 「フーケシヨブ：死の疑似体験」

7月26日(金) 「お布施をしないといけないの？」

※8月は盆法要、9月は「開基400周年記念法要」があるので休みします。

◎ にこにこカフェ：毎月第1月曜日 13時30分～15時

お茶を片手に、談話や体操・脳トレ・ゲーム・レクリエーションなど、お楽しみ色々です。タオル・500mlの空ペットボトル・参加費300円をご持参ください。このカフェは「いきいきポイント」対象となりますので、振るってご参加ください。

◎ 死別のかちあいの集い(予約・参加費不要)：13時～15時

・伴侶：毎月第1土曜日(7/6、8/3、9/7、10/5)

・自死：毎月最終土曜日(6/29、7/27、8/31、9/28)

当事者の方々と僧侶(超覚寺住職)との分かちあいの集いです。

◎ ひだまり対話(予約可)：原則毎月第2火曜日 13時～16時

精神対話士(メンタルケアの専門家)との相談会で1対1の面談形式です。日頃心の中に溜め込んでいるモヤモヤした気持ちを吐き出して、ほっ！とする時間を持ちませんか？

◎ 報告・連絡・“僧”談

1年ほど前から、正座をしたら右ひざ周辺に違和感があり、整形外科で診察してもらったら、ガングリオンというシコリが関節にあることが判明しました。「正座はしないように」と言われましたが、僧侶だと知って先生も苦しい…。

外科手術で切除したら1ヶ月は正座ができなくなるので、

まずはリハビリで様子を見ることにしました。ちゃんとした正座は控える方が良いので、量でお勤めする際はカーン座椅子を使用することにします。ご了承くださいませ。

発行人：超覚寺住職 和田隆彦(釈隆恩)

(* - *)人1～合掌



2019年6月超覚寺報 第37号

【ハ丁堀だより】



浄土真宗(真宗大谷派・東本願寺)



林鷲山 憶西院 超覚寺

RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI
(since 仏暦2162, 西暦1619, 元和5)

〒730-0013 広島県広島市中区ハ丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : <http://www.namuamidabutsu.com>

<http://mytera.jp/tera/48chokakakuji>

超覚寺 夏の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがとうございました。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(_ _)>

◎ 原爆の日の法要

8月6日(火) 8時15分 広島原爆1分間黙禱
11時30分～ 広島原爆死没者追弔会
8月9日(金) 11時02分 長崎原爆1分間黙禱
8/6は広島市内の各宗派僧侶が平和公園の原爆供養塔(引き取り手のない御遺骨を納めている)の前で法要をします。18:30から15分毎に、臨済宗・浄土宗・真言宗・真宗大谷派・日蓮宗・曹洞宗の順繰りです。それ以外の宗派や宗教は前夜や早朝にお勤めしています。

◎ 盂蘭盆会(戦争死没者追弔会)の法要

8月14～16日(水・木・金) 10時～10時30分
ご先祖さまを偲び、わが身の四苦八苦の問題を見つめ直すご縁にしましょう。
※ **お盆・初盆の読経**は、希望日時が重なりやすいので早めにご連絡ください。
※ お盆期間中、**本堂を開放**しております。どうぞ阿弥陀如来にお参りください。
※ 広島県南部の伝統供物【**盆燈籠**】を墓石の周りに立てられますが、超覚寺では墓参り・墓花・お線香のみ販売しておりますので、**盆燈籠は他所で購入**、ご持参ください。
※ 境内の駐車場は7台まで、満車の際は近所のパーキングをご利用ください。
※ 8/18以降に業者さんが墓地を清掃し、墓参り・墓花・盆燈籠を片付けます。

超覚寺オジナル墓参礼 →



◇ 真宗大谷派 山陽教区 安芸南組 夏休み一泊子ども会

7月30日(火) 13時～31日(水) 15時 **参加費 4,000円**

お念仏の教えに触れるきっかけを作りたいという願いから、広島市内の真宗大谷派寺院合同で、小学生を対象にした子ども会を毎年開いています。今年も、大竹自然の家を拠点に活動します。参加希望の方は超覚寺までお問い合わせください。

◎ 第7回 節談説教布教大会in広島

10月4日(金) 13時～16時 広島西別院(中区寺町)
今年も昨年に続き、寺町の本願寺広島別院で開催されます。毎回、あふれんばかりのご門徒方の受け念仏に本堂が包まれる様は有難いものです。
入場料というものはありませんが、ご懇志は受付にて拝受いたします。今回は住職は裏方担当で登壇はませんが、いろいろなスタイルの節談説教を拝聴できるまたとない機会ですので、乞うご期待！

◎ 2019年 報恩講法要

11月9日(土) 10時～15時30分(昼食あり)

法話：小山興圓師(愛知県安城市本證寺住職)

勤行：住職・市内住職出仕

住職が学んだ「大谷専修学院」という僧侶養成所の同期になります。
今年から4年連続で親鸞聖人のご生涯を絵解きでお話頂く予定です。

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

例年、原爆の日やお盆の時期にお納めいただく方が多く、玄関が混雑してしまい申し訳ございません。遠方の方々は、どうぞ下記口座をご利用ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、次の内容をご指定ください。

【店名】五一八(読み ゴイチハチ)

【店番】518(普通預金) 5577060

☆『400周年』（中国新聞セレクト「想」6月末掲載予定）

2019（平成31・令和元）年の今年には、浅野長晟氏が広島城に入城して400周年に当たり、広島県内各処で記念事業が推進されています。私が住職を務めている超覚寺も、浅野家と一緒に紀州和歌山から移ってきた寺院で、今年が開基400周年になります。郊外に疎開していて戦火を免れた総門徒過去帳にも、『元和五己未年八月八日廣島御城江入』との記述が載っています。浅野家上級家臣の菩提寺として広島城に程近い八丁堀に寺領を賜り、爾来400年間この地に堂宇を構えています。

しかし、1945（昭和20）年の原爆で本堂も墓石も吹き飛び、浅野家由来の美術品も焼失、住職一家も亡くなってしまいました。戦後20年間は空き寺でしたが、新しい住職が決まるまでは御門徒の皆さんが護ってくださいました。昭和・平成のバブル期には幾度も地上げの攻勢がありましたが、その際も御門徒の皆さんが頑張ってくださいました。そのお陰で、今もこうして寺院が護持され、法義が相続されています。

実は私は超覚寺の生まれ育ちではなく在家出身で、御縁あって入寺して20年が経ちました。開基400周年、そして令和への改元という節目の年に住職を務めるということは、単なる偶然に過ぎません。しかし、「それらしいことを成せよ」との阿弥陀如来の勅令のように感じたりもしています。それに応えるよう、今年は超覚寺の400年を知ってもらえる記念寺業を予定しています。そのうちの一つは、動物向けのお墓です。最近でこそ動物向けの供養墓は多く見受けられますが、超覚寺では江戸時代から動物の台同墓がありました。おそらくは超覚寺周囲に住んでいた武家や商家のペットが埋葬されていたのでしょう。その場所には今は菩提樹や彼岸花が植わっていますが、そこを納骨も埋葬もできる動物向けの墓苑に造り変えました。

以前は、こんな都心部にお寺があるのはもったいないと言われていました。今は、街中に在って気軽に参りできるからこそ逆に有難いのだと自負しています。これまでの法灯を永代絶やさぬよう、精進してまいります。

↑ 当時の過去帳や城下町地図を複製し、公開できるように企画中です。

◎ 超覚寺開基400周年記念法要（兼 秋季彼岸会）

秋季彼岸中の**9月21・22日（土・日）に、10時～16時**の予定で法要を開催いたします。先ず住職による勤行の後、浄土真宗各宗派のご講師陣によるリレー法座が始まります。

- 21日** ・本願寺派：石田博文師 ・大谷派：鈴木君代師
 ・高田派：中川結幾師 ・佛光寺派：英月師
 ・興正派：福井智行師 ・木辺派：高橋学真師
 ・出雲路派：泰園證一法師 ・誠照寺派：秦常然師
 ・三門徒派：黒田昌英師 ・山元派：藤堂尚夫師
 ・東本願寺派：府越義博師
22日 ・本願寺派：アサカラザル（宮武大悟師&久留島法曉師）
 ・本願寺派：秋津智承師 ・書道家：森秀一師
 ・大谷派：瓜生崇師

浄土真宗には実は幾つも宗派があり、全宗派の揃い踏みでスゴイだろうなあと前から思っていました。今年は超覚寺にとって大きな節目なので、思い切ってリレーを頼ったら11宗派のご講師を招くことが出来ました。法話には、宗派ごとの特徴や個々人の個性が表れるでしょうから、今からとても楽しみです。

21日の法座は、法話だけになります。お一人約25分の法話なので、1時間あれば2名の法話は聞けます。遅刻・早退は全然構いませんから、どうぞ少しの時間でもお参りください。

22日の法座は、漫才・チロ演奏・書道/ピアノ・スズ・シンガントーク法話になります。こちらもなかなかお聴聞する機会がない面々なので、どうぞ楽しみになさってください。

◎ 第2回 納涼落語会 10月中？（法要はありません）

例年、秋季彼岸会は寄席を併催しておりますが、今年は上記のようにガッツリ法話尽くしの法座なので、別の日に広島県民お馴染みのローカルタレント**中島尚樹**さん主催の落語会を招致いたします。他には広島ゆかりの某女性タレントや某男性アナウンサーも登壇予定です。詳細は次号の「八丁堀だより」にてお知らせします。

◇ “寺”後報告

① 3/21：春の法要

先ずいつものように正信偈をお勤めをした後、住職が超覚寺の由来（開基400周年記念法要について）と、「横超断四流」について話しました。おぜんざい休憩の後、祖父江先生は住職の話を受けて、有隣寺の由来と、親鸞聖人御得度の段を話されました。お昼まで雨天予報だったので心配していましたが、蓋を開けたら50名（新記録）のお参りでした。住職の第一の仕事は、人を本堂にお参りさせることなので、参詣者数が増えているのは本当に嬉しいです。今後も祖父江先生の威を借りていきます！！！！



◎ Temple Morning (テンプルモーニング)

早朝のお寺で、清々しい空気の中お掃除をする……、そんな「Temple Morning」活動が全国的に広がりをしています。朝のお寺でお掃除をするだけ。お聴聞だけでなく、自分のお寺に何かしら関わりたいという想いを実践する場になります。

7月から**毎月第1土曜日7時～8時**の間だけ開催してみようと思います。どこをどう掃除するかはその時に決めますが、ゆったりの人びりした時間になりたいと思います。

② 4/6：第5回法灯リレー法座 テーマ：『愛』解放への祈り

ご講師：沖縄市 俞漢子(ユンジャ)師

2015年から広島県内の大谷派5カ寺で4日連続の花まつり法座が開かれています。ご講師は、前回の先生が今回の先生を紹介しているバトンリレー方式で決めております。今回、俞漢子先生が本堂で語られた言葉は、仏教の専門用語をいわずに抑揚をつけずに淡々と話され、親鸞聖人の教えを生活の中で実践されていることが伝わってきました。後半、俞漢子先生との座談の中で、浄土真宗の教えは実はとても素朴で単純なんだと感じました。



親鸞聖人が生きておられたのは、文字も読めない人が多かった時代。そのような人々に語った言葉は決して難しい仏教用語ではなかったはずです。生きていくのは大変辛いこと、悲しいこと、歯がゆいこと。それでも歯を食いしばって生きている名も無き人たちと一緒に車座になり、白湯をすすりながら語られたのに違いありません。

俞漢子先生の今回のお話も、「人として生まれさせてもらったのだから命終わるまで精一杯生きる…」 「人が人を殺すことがあってはいけない…」 という分かりやすい話だからこそ、初めて参加された方も「こういう話なら次回は友人を誘って来たい」とか、「また来られる機会があったら是非聴いてみたい」、お話ししてみたい」との感想を持たれました。来年のご講師は、俞漢子先生が「この方なら」とご紹介くださいます。

③ 4/1～8：釈尊降誕会

今年も早めに花御堂(はなみどう)を設置しました。身体を使っの行が少くない浄土真宗で、誕生仏への甘茶掛けは稀有な儀式作法になります。花御堂は、普通は本堂の入口や中に置かれますが、超覚寺では門の外に設置し、歩行者が気軽に甘茶掛けできるようにしています。今年は、御門徒さん手作りの水引細工をお配りしたので、お費銭される方が多く、硬貨が山積みされていました。有難いことです。

